

来春採用の中部清掃組合職員募集

区 分	上 級 行 政
職 務 内 容	廃棄物処理施設の管理業務ならびに事務全般
採用予定人数	1名
年 齢 等	昭和55年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方
受 験 資 格	次のいずれかに該当する方は、受験できません。 <ul style="list-style-type: none"> ・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたはその執行を受けることがなくなるまでの方 ・中部清掃組合職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない方 ・日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した方
受 付 期 間	10月12日(月)まで
第1次試験	10月25日(日)
内 容・方 法	教養試験・性格特性検査
試 験 会 場	中部清掃組合 日野清掃センター
最 終 結 果	11月下旬
採用日(予定)	令和3年4月1日(木)
そ の 他	第1次試験合格者には、第2次試験(作文・面接等)を実施します。

◆申し込み・問い合わせ先 中部清掃組合 総務係 ☎0748-53-0155

※ホームページにも掲載しています。 URL <http://www.tyubuseisou.jp>

青雲之志

～町長コラム～

日野町長 堀江 和博

9月とはいえ、まだ夏を思わせる暑い毎日です。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。7月11日に町長として就任をさせていただきました。すぐ2か月が経とうとしています。多くの方にお支えいただき、日々、町長としての仕事を務めさせていただいております。この場をお借りしまして、改めて感謝を申し上げます。

さて、皆さまにとって、ご不安やご心配の種になっているのが、「新型コロナウイルス感染症」であるかと思えます。7月初旬ごろから感染が全国でふたたび広がり、日野町においても感染者が確認されることとなりました。大きく感染は広がっていませんが、まだまだ気を許せない状況です。

そういった中でも、医療機関をはじめ、高齢者福祉施設や障がい者福祉施設、保育施設や学校施設などでは、緊張の高まる中で日々の業務に従事していただいております。感謝の念に堪えま

せん。私たちにできることは、マスク着用や手洗いの励行、3つの密の回避、などの感染対策です。しっかりと心がけたいと思います。

感染拡大によって、この夏に予定をされていた納涼祭や花火大会など、さまざまな行事・イベントが中止または縮小されました。また、お盆休みに、ご家族が帰省することを自粛されたというお話も聞いています。本当に残念です。ウイルスによって、私達の健康はもろくなるのですが、家族とのつながりや人とのつながりが分断されようとしています。人と人が疑心暗鬼になり、人を誹謗中傷するなどの行為も全国で多発しています。

こんなウイルスに負けてはいけません。憎むべきは「人」ではなく「ウイルス」です。そして、この試験を乗り越えていくためには、私達の「日々の感染予防」と「他者を思いやる心」が大切だと思えます。終息の兆しはまだ見えませんが、必ず、克服できると私は信じています。皆さんと一緒に、この試験を乗り越えていきたいと思えます。

アライグマの生態と被害防止

ここ数年、家庭菜園の野菜・果樹などの農作物被害や、家屋の天井裏等での糞尿による生活環境被害が増加してきています。そこで、今回は外来性動物(アライグマ)の生態と防除について説明します。



生態と特徴

アライグマは、愛くるしい見かけとは裏腹に、性格は凶暴で、飼い主にも懐きません。そのため、ケージから逃げ出したり、飼い主に捨てられたりして野生化し、日本全国に分布域を拡大しています。

食性は雑食性で、ネズミなどの小型哺乳類、鳥類、カエルなどの両生類、魚に昆虫、果樹、農作物など、何でも食べます。

夜行性で、日中は高い木の上や、

家屋の屋根裏などのねぐらで休みます。

手先が器用で、木や柱、壁を登るのが非常に得意です。

アライグマは身をさらすことを嫌う動物です。建物の壁際や水路、側溝などを歩いて移動する事が多いです。

尾にあるシマ模様が他の動物と見分ける際の大きなポイントです。



穴をあけ、中に手を突っ込んで食べる

効果的な捕獲時期

アライグマは1年に1度3〜6月頃に出産し、3〜6頭の子どもを産みます。アライグマは成長が早く、生後50日程度でねぐらを出て、親と一緒に行動するようになり、1歳になるとメスは繁殖できます。

妊娠後期から、出産直後の7月頃にかけては、採食行動を活発に行つて母親の捕獲率が上がります。また、7月頃から果樹が実る9〜10月頃に

は、農に警戒心の低い子ども捕獲率が上がります。

被害防止のポイント

①農作物被害対策

畑の作物はネットを掛ける等、簡単に食べられないようにしましょう。また、被害対策としては電気柵が最も有効です



電気柵
最も効果的な方法。架線を地面から約10cm間隔で3〜4本張る。架線が草などに接触していると漏電してしまうので、設置前及び設置期間中の草刈りが必要。

が、架線が草などに接触していると漏電してしまいますので、設置前および設置中の草刈りが必要です。

畑には生ごみ等を放置したり、廃棄する作物を畑に野積みして放置したり、果樹を成りつぱなしのまま、収穫しなかつたりと、エサになる物の放置は絶対にやめましょう。

夜間のゴミ出しにも注意してください。夜行性のアライグマが夜中にゴミをあさる事もあります。

②生活環境被害対策

アライグマの進入口になりそうな壁や床下、屋根近くの隙間はふさぐようにしましょう。柱や雨どいを伝って屋根へ上り軒先の隙間から天井裏へ侵入することもあります。特に、昼間でも人気の少ない、社寺などの古い木造建築は、ねぐらや繁殖場所に使われやすいので注意が必要です。

また、人が住んでいる民家でも、進入口があると、アライグマが出産・子育てをしてしまいます。

家屋に侵入されたアライグマの追い出し方法の一つとして、アライグマの侵入口を見つけてください。アライグマが屋根裏にいる場合には入口から遠い屋根裏の一角で害虫防除剤数個を焚いて追い出した後侵入口をふさぎます。

池や水槽の鯉、金魚の捕食防止には、室内の水槽等へ移動させるのが一番安全ですが、無理な場合は目の細かい金網等でおおいます。アライグマは力が非常に強いので、網が剥がされないようにしっかりと固定してください。

日野町有害鳥獣被害対策協議会では、数に限りは有りますが、捕獲檻の貸し出しを行っています。

「家屋に侵入された」「家庭菜園を荒らされる」等、お困りの際はご相談ください。

